

# トラブルを防ぎHAPPYをふやす 生(性)いのちの話

～支援を要する子どもにも伝えやすい性(生)教育～



講師 アストライア代表  
保健室の看護師先生  
梶原 なおみ

# Q & A

**梶原なおみ先生が  
お答えします！**

## Q:保護者

20代になった知的障がい、ASDの娘がいます。子宮頸がん検診の通知が届いたのですが、本人が受診に耐えられるとは思いません。それでも、検診の必要性も感じてしまいます。我が娘のような子供達に、女性特有の病気を予防させたり、検診を受けさせたりすることで、健康を維持していくために、親がしてあげられることを教えて下さい。

## A

切実な願いですね。ただ、子宮頸がんは遺伝ではありません。予防できる癌です出来ることとすれば、今の娘さんの生理の状況（周期、出血量等）を把握しておき、変化がないか見守ること。また、安心できる産婦人科の先生との関係づくりをしておき、先生との相性や関係が良ければ、検診も可能になるかもしれないし、いざという時も安心ですよ。他には、HPVワクチン接種（公費：小6～高1間に三回接種。自費だと約10万。）を性交渉前に受ける選択肢もあります。

## Q: スクールカウンセラー

ASD男子児童が女子児童にキスをしてもらってもいいかと尋ねたら、いいよと言われたからやったと。断られたらやらなかったというのです。

「いいよ」は必ずしも **OK** ではないこと、「いいよ」と言われたからと、安易に行動に移してはいけない事情をどのように伝えてあげたらいいのでしょうか？

言葉がすべてじゃないことや、気持ちと言葉が必ずしもイコールではないことなど…伝えましたが…伝わっていない気がします。どのように指導すればいいのでしょうか？

A

言葉でしか「同意」は取れないが原則ですが、顔や嫌がっていたり、投げやりな

「別にいいよ」は、言葉が「いいよ」でも「同意」ではありません。

大人側としても『「いいよ」が必ずしもOKではない』をどう理解しているのか？

は大事です。子どもにも納得のいく説明をしなければならないので、その子が経験したことのある具体例を使って説明してあげれば、「こういう時はOKじゃないんだ！」と理解できるように話してあげることが可能だと思います。

## Q:小学校特別支援学級

低学年男子で性器を日常的に触っている子がいます。見ていると、手持ち無沙汰だったり、何をしていたか分からなかったりする時に触っていることが多いです。学校では、気持ちが必要な方に意識がいくように促していますが、家庭と連携していく必要があると思っています。この場合、家庭にどのように話をすればいいのでしょうか？ またこの状態をこのまま続いていくと、どのような影響があるのか？も含めて、どのように対処していけばいいのか教えてください。

A

触っていい時と触っていい場所という場所の話とプライベートゾーンの話、特に「相手に見せてもいけない」ということを教えておくことが必要だと思います。触ってはいけないことではないので、触ってもいいんだけど、場所と清潔さが大切であることを繰り返し伝えていくことが必要です。また、触ってない時はどんな時なのか？その時間を増やすのも、方法の一つです。家庭との連携はもちろん必要だと思います。家庭ではどうしているのかをお聞きして、学校での指導もお伝えして、情報を共有していくことが大切です。

## Q:中学校特別支援学級

中学生男子、人前で性器をズボンの上から、時々ズボンに手を入れて触ってしまう生徒がいます。

また、人前ではしないのですが、教室の物陰にいると性器を触る生徒がいます。どのように指導すればいいのでしょうか？

A

プライベートゾーンの指導がポイントになります。隠れてする子には「隠れてしないといけないという認識がある」ということなので、その子に分かるように踏み込みながら、正しいプライベートゾーンと触っていい場所について指導することが大切です。性器触る行為は、気持ちを安定させるとか別の意味があることもあるので、その場合なら代替え案を考えてあげる必要もあります。大人目線で「触るのはダメ」だけではなく、「なぜ触っているのか？」のポイントで見ていくことも必要だと思います。「仕方ない」「言っても分からない」からと受け入れるのではなく、諦めるんじゃなくて、良いことと悪いことの区別がつくように、分かるように説明していく、触っている理由をきちんと区別して、解決できる方法を考えていくということが大切だと思います。

## Q:中学校特別支援学級

性教育の方法について悩んでします。発達段階の個人差も大きいです。ネットの情報を信じてしまう生徒もいます。何を、どのように、どこまで、教えるべきなのか？どのように伝えるべきなのか？学校ではどこまで？家庭ではどこまで？役割分担の考え方は？教えてください。

A

性教育の方法って「しなくっちゃ」と構えるとできないんですよ。でも実は性教育って、日常性生活の中にいっぱいネタが転がっていて、みんなそのチャンスを逃しているんです。困った時になって「どうしよう」と騒ぐのではなく、日常のコミュニケーションの中でできることとして、そのネタが転がっている時にタイムリーに生（性）の話をしていくのがポイントです。

TVのラブシーンに「どう思う？」と聞いてもいいし、「そんなわけないでしょ！」とお母さんが独り言いうことも教育になります。絵本を使うにしても、小さい子なら読み聞かせしたり、大きい子なら机に置いといて、その子が読んだことが分かった時に「あの本どう思った？」と声をかけていくなど、できることはたくさんありますよ。

## Q:中学校特別支援学級

支援を要する大人になった元子ども達は、どう教えられて、その時どう思っていたのか？子供のころの学びは、今、身について活かされているのか？具体的事例があれば、教えてください。

A

その時分からなくても、子どもの頃聞いた話が後々役に立ったり、大人になって分かったりすることはあります。子供の頃から生（性）の話を繰り返し繰り返し教えられて育った子は、頭に残っていると思うんですね。そして、そう育った子は困りごとが減っていくと思うんです。

でも、成長したらしたで、別の困りごとは生まれてくる。その時に、小さい頃困ったときに助けてくれた信頼できる人がいた子は、大人になっても困りごとを相談することができるし、人に頼ることができると思うんです。卒業した後でも、先生を頼って相談に来るかもしれない。私には、男子校で育った卒業生が、大学生になって相談に来た事例がいくつもありますよ。

## Q:保護者

ネット情報から性に対する興味が低年齢化しているように思われます。愛情をもって我が子と向き合うために、どのように関わり、接したら良いのでしょうか？なおみ先生のポリシーのようなものがあれば教えてください。

A  
ネット情報はワンクリックで1110万の情報が出てきます。その中から「正しい情報をどうやって選ぶのか？」と子どもに問うと、新しさ、閲覧回数が多いものが正しいと考える子が多いんです。子どものネット検索は、自分の欲しい情報にたどり着くようにクリックすることが多く、「これが正解」と思い込む危険性が非常に高い状況です。その時、ネット情報には正しくないものがたくさんあることを知っていて、「誰かに聞く」という確かめ行動がとれれば、問題は回避できますよね。

生まれた時からスマホのある生活が当たり前の時代。2歳の子が「ドラえもん」と言えば、アダルトサイトにたどり着くこともできる環境であることを大人が理解して、「変だなと思ったら言ってね」と言っておけばいいんですね。

学校では、正しいかとどうか分からなかったら、自分ひとりで判断しないで、友達5人と話し合ってみることを勧めています。みんなで討論するコミュニティを作ることや会話できる、相談できる関係性を作ることが、私は大切だと思います。

## Q:保護者

自分の人生の選択（性行動の選択を含め）は、自分でできるようになるためにも、性教育はその土台、選択肢を広げるものだと考えています。

SEXをすること自体も本人が決めることと考えているのですが、定型の子には「相手と性感染症（STD）について、避妊、思わぬ妊娠をしたらどうするか、話し合える関係になってから」という伝え方で伝えることを、スーパーニーズの子達へは、どのように伝えてあげれば良いでしょうか？

## A

その子に分かるように伝えれば、どんな内容も伝えることは可能だと思います。本人の理解力と周囲の望んでいることはそれぞれなので、一概には言えませんが、本人と相手の間に愛情があってSEXしたいというのであれば、性感染症の詳しいことは分からなくても、病気になることは理解できると思いますし、屋外でのSEXが衛生的にリスクがあることも、理解できると思います。

どうしても避妊したいというのであれば、ピルを飲むなどの選択もできるので、過去の悲しい歴史のように周囲が勝手に決めるのではなく、本人と相手が自分の選択で考えていけるようにサポートすることはできると思います。

私もそういったことにも寄り添っていける人間でありたいと思っているので、ご相談いただければ、一緒に考えていきたいです。

Q:本人（成人女性）

自分が小学校高学年から中学生ぐらいの頃、胸が膨らんで来ていた時に、母に直接胸を触られながら指摘されたことがありました。

母本人に悪気はなく、愛でるような感じだったことは分かっていたのですが、私自身は、びっくりするというより固まってしまって、またその後長い間、母に裸を見られるのが極端に嫌な時代がありました。

今はもう親に悪気はなかったことも理解できているし、自分の中で消化もできていますが、母に、このことを伝えるべきなのでしょう？

A

「あの時嫌だったんだよ。でも克服したよ。」と伝えていいと思います。頑張って言わなきゃいけないわけではありませんが、自分のために自然に話せばいいと思います。子どもは、嫌だった気持ちを受け止めてもらえないとトラウマになってしまうんですね。子供が嫌な気持ちを言ってきた時は、大人は「嫌だったね」と受けとめることが大切です。ご自身に嫌な体験があれば、自分はそういうことをしないようにしようと思えるでしょうし、お母さんにもそのことも含めて報告できれば、お母さんを傷つけなくても済むと思います。

悪気はなくても、大人の行動に傷つく子供たちがいるのは事実です。悪気がなければ許されるわけでもないなので、注意したいですね。

Q：保護者（中1男子）

TVを見ている時、何気ない時にちょこっと性器をいじってしまう時があります。つい「何しているの？」と言ってしまいます。

マスターベーションする時は、夜、布団だと教えて来て、その通りにするようになっていたのですが、無意識にいじってしまうようです。仕方がないのでしょうか？エッチな漫画を読んでいました。内容が嫌がっている子がだんだん喜んでしまう内容で、間違った理解をしないか心配です。どう教えたらいいのでしょうか？

A

『何しているの？』は伝わりにくいし、なぜ指摘されるのか分からず「ダメなこと」「叱られること」になってしまっただけは、折角伝えられるチャンスを逃してしまうので残念ですね。自分が意識して触ると言うよりは、暇なとき無意識にいじっていませんか？

プライベートゾーンの話も、その子にわかりやすい伝え方で繰り返し伝える事！理解が深まれば、触って良いとき？ダメなとき？触って良い場所？ダメな場所？が分かるようになります。不安なことがあって触っていたりするのなら、触る行為を止めさせることより不安なことの解消を考える事も出来ますね。

Q：保護者（中1男子）

マスターベーションする時は、夜、布団だと教えていて、その通りにするようになっているのですが、無意識にいじってしまうようです。仕方がないのでしょうか？エッチな漫画を読んでいました。内容が嫌がっている子がだんだん喜んでしまう内容で、間違った理解をしないか心配です。どう教えたらいいのでしょうか？

A

マスターベーションを教えた通りに出来るならば、プライベートゾーン理解はしっかり出来ると思います。エッチな漫画を読むことが悪いことではないので、その行為を否定しないで内容をどう思っているのか聞いて見てあげるのも良いですね。その理解の上で「間違っているよ、ダメだよ」だけで解決しないで、「漫画に書いてあることは空想の話なので嫌がっている子がだんだん喜ぶと言うことは決してないよ」と、その子に分かりやすい例え話を使って伝えてあげるのも良いかもしれません。

Q:中学校特別支援学級

あまり意識の高くない（気にしていない）保護者へ、教師側がどんな風に切り出し、そんな風に情報を共有して行ったら良いのでしょうか？

A

気にしていない方に、こちら（教員）の想いだけで指導しても理解はしてくれないと思います。

そんな場合は、雑談の中で（コミュニケーション）気になるワードを話した時がチャンスです。オウム返しして、「どうしてそう思うのか？」などを質問してみると良いと思います。

自分でも考える機会を持つ。その考えを否定せず、一緒に考える姿勢から情報共有して、必要なら指導をその都度していくのはどうですか？

## Q:小学校特別支援学級

高学年男児で大変コミュニケーションが苦手が子があります。親しい関係の人以外は、言葉を発することができません。その子が同じ学年の友達に対して身体に触れることが多くて困っています。低学年の男児に対しては、頬をするっと触ります。廊下ですれ違った低学年の女児の頬に手が伸びて、苦情が頻繁にあります。保護者にも伝えていますが、改善されないまま、今に至ります。をどう考えたらいいでしょうか？

A

コミュニケーションが苦手、言葉で表現するのが苦手だから身体に触れることがこの子にとっての大事なコミュニケーションの一つになっている様に感じます。

この子保護者の方のコミュニケーションの取り方はどうですか？

息子が可愛くて「可愛いね」ってほっぺを触るとか身体に触れながら話すというのが、お家でのコミュニケーションになっていたりしませんか？1度確認してみてください。

そうであれば、この子のコミュニケーションの方法が「身体に触れる＝好き（心地良い）」という理解になっていることも考えられますね。「ダメです」「止めなさい」で指導してしまうのは、彼の情緒が不安定になりかねないので、なぜ触るのか理由がわかれば、同意の話も具体的に出来ますね。保護者の方にも同意の話をして理解してもらうことで改善できる事はたくさんありそうです。身体に触れるのがいやな子もいるので、言葉が苦手ならどんな風にすれば相手に伝えられるか、一緒に考える必要がありますね。

## Q:小学校

授業中や休み時間、友達とおしゃべりしている時など、ふと気づくとズボンの中に手が入っています。

適切な言葉かけは、どのようにしたらよいですか？

今は、その子の手を取って、ズボンからそっと引き出しています。

A

プライベートゾーンの理解と声かけで、自分から気づいて制止することが出来るように根気よく伝えることを頑張ってみてください。

「その子の手を取って、ズボンからそっと引き出しています」とのことですが、これだけではなぜ手を引き出されるのか分からないでしょう。逆に先生の気を引きたい時、「この行動で先生を引き付けられる」と間違った理解になってしまったら、行動がエスカレートしてしまう可能性もあるかもしれませんね。繰り返し頑張ってみて分かる方法で伝えて、自分でやめられるように頑張ってみてくださいね。

## Q：小学校

小学生の性教育にお勧めの本、教材があれば教えてください。

A

絵本などを使うのは良いですね。

先生、保護者の方が先に読んでみて、対象の子どもの理解度などを加味して選んでくださいね。種類は多いです。

\*いいタッチとわるいタッチ

\*とにかくさげんでにげるんだ

\*あっ！そうなんだ！性と生

\*子どもを守る言葉『同意』って何？

Q:保護者（成人男子：ダウン症）

マスターベーションについて、どのように話して良いのか分かりません。自分の部屋で怪しい動きをしていたのを見かけたことがあったが、見て見ぬふりをしました。

A

プライベートゾーンをしっかりと伝えて理解させることが必要ですね。怪しいと思う行動の時に「プライベートゾーンだよ、どこでする？」の声かけで、自分から行動を変えることが出来るように、いつでもどこでもして良いことから、清潔に安心安全な場所、見せない見られない場所でする事にしていくことにしましょう。

おしっこやうんちをどこでもする子はいないと思います。

トイレの理解が出来るのならばプライベートゾーン、マスターベーションをする場所はちゃんと理解出来ると思います。

Q:保護者（成人男子：ダウン症）

高校生の時、ある事件に巻き込まれ、加害者（暴力を振るったと..）にされてしまった経験があります。警察で、本人が言葉で説明できないため、悔しい思いをしたことがあります。どのように回避すれば良かったのか？今後のことを考えても悩んでいます。

A

子どもは言葉で上手に伝えられないと手が出てしまうことはありますね。発達がゆっくりで、言葉で説明が出来ないのを周囲に理解してもらうのは難しいので、成人になれば免罪を含む心配は増えると思います。悔しかったですね。事件の内容が分からないので的確なアドバイスは難しいですが、トラブルに巻き込まれて説明をすると言うことを頑張ることよりも、そんな場面で手が出そうになる前にその場から逃げる（場所を離れる）ことを伝えてみたらどうでしょうか？その上で、そんなことがあった時は、信頼出来る人にその話をする（聞いてもらう）。そのようにすれば警察が必要になるようなトラブルは減ると思います。

## Q:教員

教育指導要領の中に、性教育の「はどめ規定」があると聞きました。海外では、5歳児からきちんと性に関する教育がなされていると聞いています。この「はどめ規定」がある経緯を知りたいです。また、「はどめ規定」をなくすことはできないものかと、とても疑問に思います。

## A

「はどめ規定」は 七生養護学校での性教育が行き過ぎだと批判され裁判になったところから始まっています。必要なことを伝えるために、本当に先生方は頑張ったのですが、学んで来ていない大人（政治家）によって最高裁判にまで発展しました。その結果、先生方が勝訴したのに、そこから性教育は進まなくなりました。学校で性交については教えてはいけないと決まり、教科書からコンドームの記載は全くななくなっています。

現在は、少しずつ性教育の必要性を話す（私のような人）が増えてきているので、変わってきつつありますが、海外と比較したらまだまだ不十分です。日本では、アフターピルも薬局で買えず、中絶方法も母胎に負担のかかりすぎる危険な方法がまだ主流と、とにかく問題は山積です。

「歯止め規定」をなくすのは、大人も性教育の学び直しをして、生（性）教育の必要性を知り、正しく行動出来る大人を増やして行くことが必要かと思います。大人が生（性）教育を受ける機会を持ち、正しい知識と行動が出来る様になり、そういう大人から子ども達が学んでいける社会になればと思います。微力ですが私も引き続き頑張っって伝えていきますね。

**講演会アーカイブ視聴**

**3月末まで!!!**

**販売継続!!!**

**ぜひ大切なご家族、仲間、  
お知り合いにお勧め下さい!!!**